

インフラメンテナンス国民会議 近畿本部 第 3 回フォーラム 開催結果

開催概要

日時：平成 29 年 3 月 22 日(水) 14:00～17:00

参加者：地方自治体※：3 府県、1 市町村（9 名）

※ 政令市は府県にカウント、地方共同法人は民間企業等にかウント

民間企業等：31 者（38 名）

事務局（国土政策研究会）（8 名）

国土交通省：総合政策局（2 名）

近畿地方整備局（4 名）

メンター：2 名

出席者合計 63 名

フォーラムの開催結果

- ・ 今回は、第 1 回フォーラム（1 月 31 日実施）において討議を行った施設管理者が抱える維持管理の課題 8 テーマの内、「橋梁・コンクリート構造物点検関係」、「下水道関係」、「道路法面危険把握関係」に関する 3 テーマ（①化粧板等で覆われているコンクリート構造物の効率的な点検技術、②大口径のコンクリート下水管渠における効率的な点検技術、③道路法面における安定度評価（スクリーニング）を行うための効率的な点検技術）について、班別討議を行った。
- ・ その結果、民間企業が有する技術についての情報提供や自治体の抱える課題解決に向けて、活発な討議が行われた。
- ・ 参加された企業会員からは、自治体のニーズなど生の声を聞いたことが良かったなどの感想が出され、自治体会員からは、既存技術について新たな知見が得られ、近畿本部フォーラムが有益な場であった等の感想が述べられた。
- ・ 最後に、近畿情報ワーキング長の関西大学坂野教授から、「毎回述べているが、『見にくいから見ない』は管理者として許されない。だからこそ、工夫や努力が必要。社会的にも維持管理の必要性は増加傾向にあり、管理者は限られた予算の中でより効率的に点検することが求められる。こうした課題解決に向けて、さらなる技術開発を進めるためには、民間企業間のコラボなども必要ではないか。また、技術検証のため、新年度は管理者側にフィールド提供も求めてゆきたい。」とのコメントをいただいた。

班別討議の概要

討議テーマ①

テーマ名	化粧板等で覆われているコンクリート構造物の効率的な点検技術
課題提供者	大阪市
討議内容	会場に持ち込まれた工業用内視鏡を使って技術紹介がなされ、参加自治体からは、同技術の活用に向けた課題等について意見が出された。今後は、工業用内視鏡技術の活用に向けた課題について議論しつつ、現場検証も視野に入れて検討を進めることとした。

討議テーマ②

テーマ名	大口径のコンクリート下水管渠における効率的な点検技術
課題提供者	大阪市
討議内容	企業会員からカメラやロボット技術など既存の点検技術が紹介され、同技術の活用に向けた課題等について議論がなされた。今後は、現場検証も視野に入れて技術情報の収集や課題等について検討を進めることとした。

討議テーマ③

テーマ名	道路法面における安定度評価（スクリーニング）を行うための効率的な点検技術
課題提供者	奈良県
討議内容	企業会員から現状や課題について情報提供され、技術の改良や開発、既存データを活用したスクリーニング技術などについて議論がなされた。今後は、他の自治体の取組事例なども収集するとともに、課題の深掘りを進めることとした。



第3回フォーラムの様子